

歴史的景観保全のための住民参加型まちづくりに関する研究

一熊本市新町・古町地区を事例として一

熊本大学院 自然科学教育部 博士前期課程
本間研究室 高辻小春

1. 研究の背景・目的

背景

まちづくり

住民主体の住民参加型まちづくりの展開

歴史まちづくり

住民参加型まちづくりの体制整備

住民参加の課題

住民の意識の課題

歴史まちづくり法の認定など、歴史まちづくりにおいても参加型まちづくりが展開されているが、住民参加が根付いていない現状がある。

そこで、住民の意識に着目し、住民参加型まちづくりの現状と課題を明らかにする。

研究の目的・流れ

新町・古町地区における住民の歴史まちづくりに対する意識調査
熊本市新町・古町地区における住民のまちづくりに対する意識を把握する

新町・古町地区で活動する市民団体・行政へのヒアリング調査
熊本市新町・古町地区におけるまちづくり活動の現状を把握する

課題解決のための住民参加型歴史まちづくりの提案を行う

3. 新町・古町地区における住民の意識調査

住民の意識調査概要

調査目的

歴史的景観に対する住民の意識・意見を把握する

新町・古町地区の共通の将来像を検討する手がかりとする

住民参加型まちづくりの仕組みを検討する手がかりとする

調査方法

依頼書のポスティング

ウェブ上のアンケート回答

追加調査

古町のイベントにて紙媒体でのアンケート調査を実施



分析方法

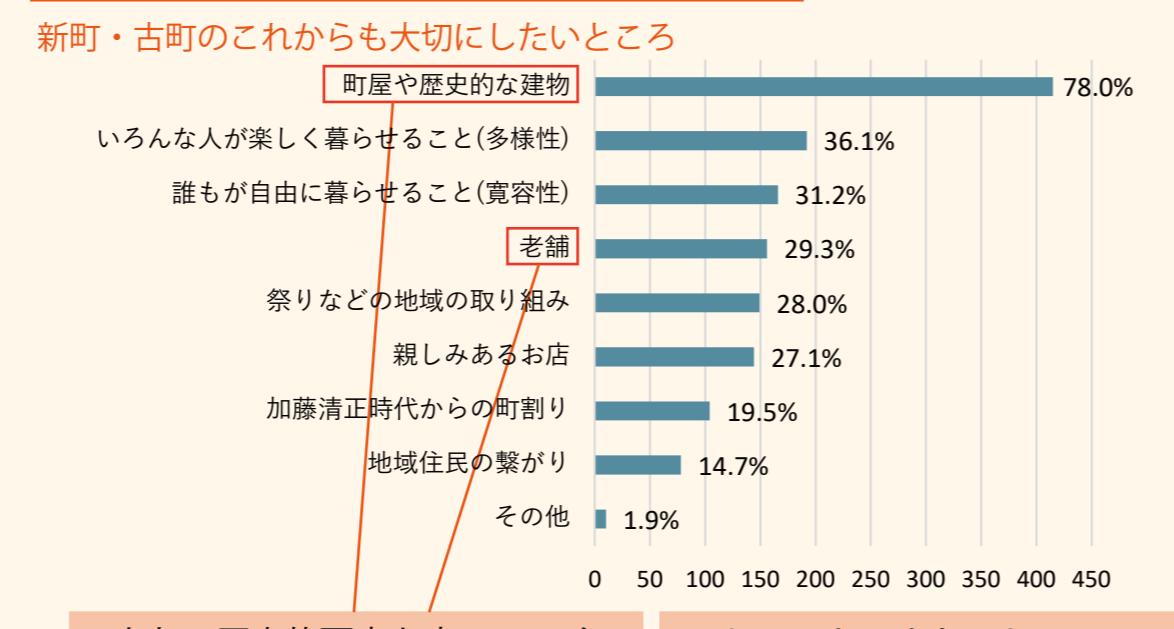
クロス集計 目的 居住年数や年齢の違いによる各項目の結果の特徴を探る

テキストマイニング分析 目的 居住年数の違いによる意見の相違点・共通点を探る

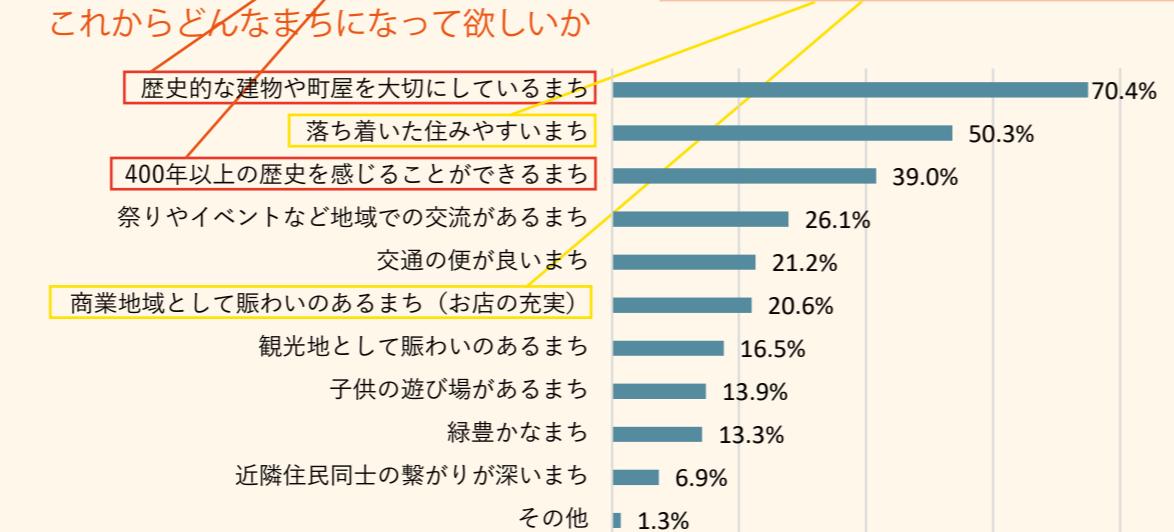
自由記述の回答(190件)に対し、「まちに対する印象」「不満」「要望・提案」の項目に分類し、Kthcoderのテキストマイニングを用いた計量テキスト分析を行う。テキストマイニングにおける共起ネットワークは、共起の程度が高い語を線で結んだネットワーク図を描き、語と語の繋がりを把握できる。

調査結果(クロス集計)

①新町・古町の住民の共通の将来像について

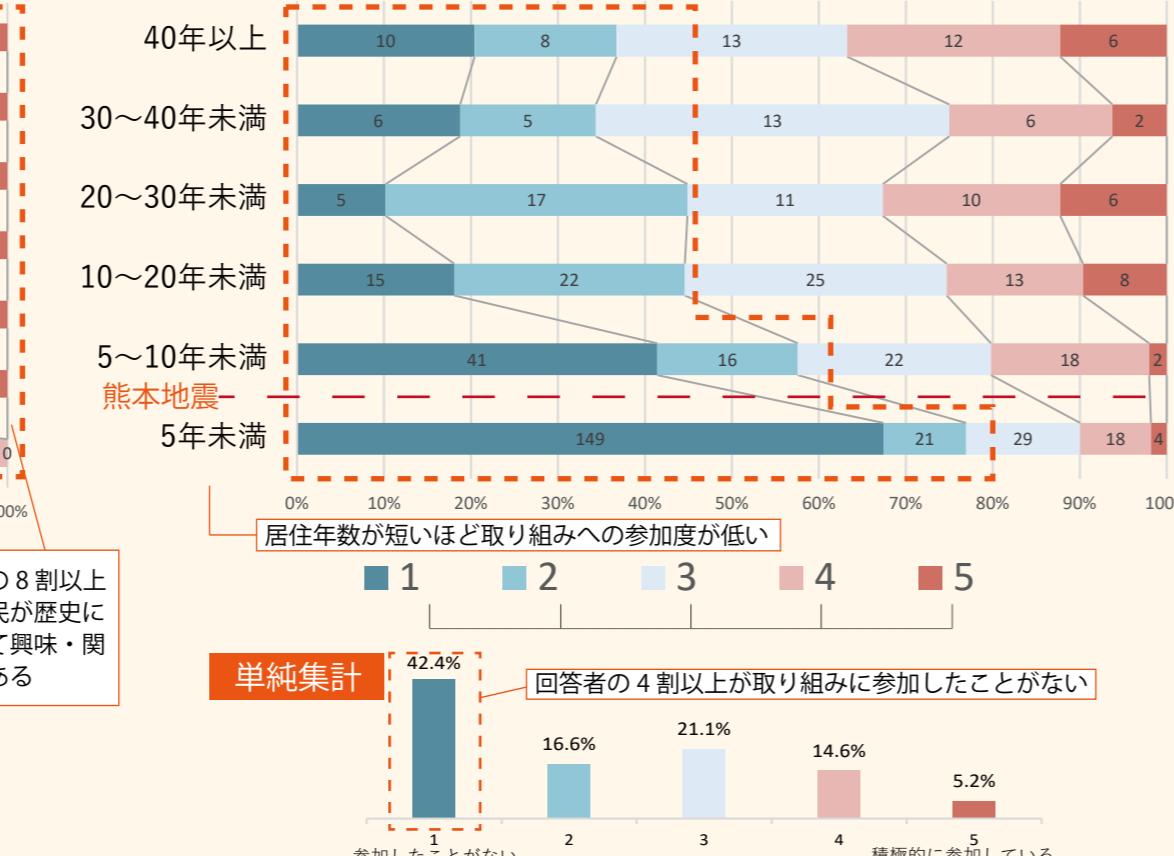


これからどんなまちになって欲しいか



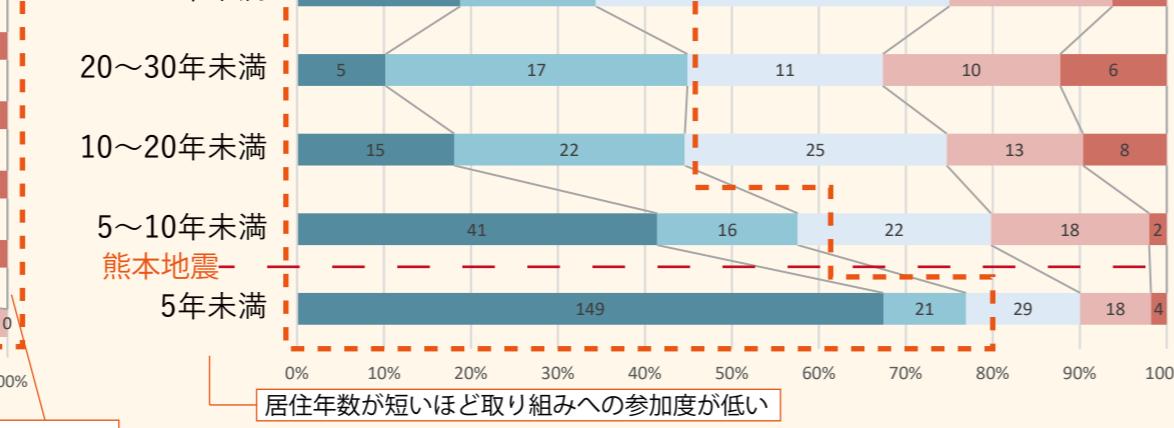
②新町・古町の歴史に対する興味・関心

クロス集計 歴史に対する興味・関心 × 年齢



③地域の取り組みに対する参加度

クロス集計 取り組みへの参加度 × 居住年数



単純集計 参加したことない 42.4% (1), 2: 16.6%, 3: 21.1%, 4: 14.6%, 5: 5.2% (5)

単純集計 参加したことない 42.4% (1), 2: 16.6%, 3: 21.1%, 4: 14.6%, 5: 5.2% (5)

4. 市民団体・行政へのヒアリング調査

ヒアリング調査概要

調査目的

新町・古町地区のまちづくりの現状・課題を把握する

調査対象

市民団体

新町・古町地区で活動するまちづくり団体

熊本まちなみトラスト

新町・古町町屋研究会

新町地区熊本新町獅子保存会

一新まちなみの会

新町青年会新風連

古町地区五福ふれあいまちづくりの会

KIMOIRIDON

行政

熊本市都市デザイン課

歴史まちづくり担当者

ヒアリング内容

市民団体について

設立年

市民団体が設立された経緯

設立の目的・目標

市民団体の人数

団体に加入する人の集め方

主な活動内容

主な活動場所

活動頻度

活動による成果

情報発信の方法

住民参加の促進方法

抱える課題(行政への要望)

後継者の育成

市民団体へのヒアリング調査結果

活動における課題

若手不足

メンバーの固定化・高齢化
組織を継続する後継者の人材不足

新住民との交流

マンションに住む新住民への呼びかけが難しく、新住民との交流ができない

活動拠点の整備

ボランティアでの活動に限界があり、活動拠点の整備ができない

コロナ渦による影響

コロナウイルスにより、交流が中断・減少し、イベントの復活ができていない

行政へのヒアリング調査結果

市民団体から行政への要望

市民団体から行政への要望